

B16 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割

【概要】

中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かした後輩従業員を指導するためのコーチング法の知識と技能を習得し、職場の課題解決に向けた先導的役割を理解する。

会場：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 名古屋事務所
(名古屋市中区錦1-10-1 MIテラス名古屋伏見5階)

講師：船木 陽子 (株式会社ラングローバル)

カリキュラム

■ 職場の課題 《0.5 h》	<u>職場の現状把握</u> ・ 将来の見通しの拡大と頭打ち～現状受容か変容かの選択～ ・ 仕事の意味の再吟味～指導者・助言者としての役割受容
	<u>職場の課題と解決のプロセス</u> ・ 専門的能力の強化と技術的有能性の確保 ・ 若手意欲的管理者との対応と、年長者としてのリーダー的役割
■ 求められる役割 《0.5 h》	<u>職務経験の確認</u> ・ アイデンティティの問い直しと自己のキャリア発達課題(自身の振り返り) ・ 人生の四季について考える～転機への対処法～
	<u>上司とのコミュニケーションによる役割の確認</u> ・ キャリア開発のステップと目標設定の仕方 ・ 広い視野と現実的思考～自己中心から組織中心の見方へ～
■ ティーチングを活用した指導法 《1 h》	<u>ティーチングの進め方</u> ・ 主張と尊重を両立するアサーティブ・コミュニケーションを理解する (概要)
	<u>ティーチングのスキル</u> ・ アサーティブ・トレーニングの効果的な実践方法の紹介 (事例含む)
■ コーチングを活用した指導法 《4 h》	<u>コーチングの目的と心構え～コーチングの有用性を理解する～</u> ・ コーチングの効果～『話を聴いてもらいたいひとになれる』 ・ コーチングによる部下の変化と管理職がやるべきこと ・ コーチングに必要な土壌づくりと、期待されること 指示と命令の違い
	<u>コーチング演習</u> ・ どういう場合にコーチングが有効か実際にワークを通じて体感する ・ 日常的にコーチングスキルを使う質問型の会話を習得する ・ 様々なパターンのワークを通じて、日頃のコミュニケーションの癖を知る
	<u>コーチングの原則～実際に現場で使うための予行練習～</u> ・ 聴くことと信じる能力～相手のために理解して聴く ・ 促すことと信じる能力～安心と潜在能力を引き出す～ ・ コーチングを妨げるもの～受け取る側の心理状態を知るために～